

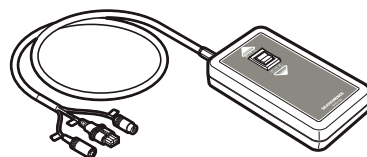
緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応）

電動在宅介護ベッド 和夢“彩”は、背ボトムが上がっている状態で停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に手で背ボトムを下げるすることができます。

「背下げの方法」には、「セーフティハンドスイッチを使用する方法」と、セーフティハンドスイッチを使用しないで「手動で行う方法」の2つがあります。

Point

- セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】をご用意いただくことで、急な停電で電源が確保できない緊急時でも、安全にベッドを操作することができます。



- セーフティハンドスイッチを使用するとベッドの背ボトム「下げ」以外にも、膝ボトム「上げ・下げ」操作、ベッドの高さ「下げ」操作を行うことができます。

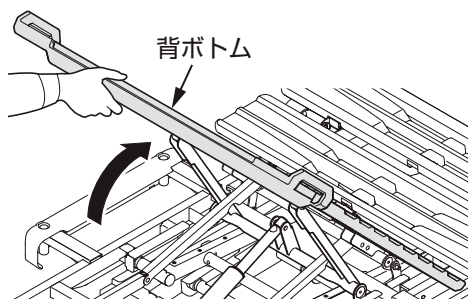
⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

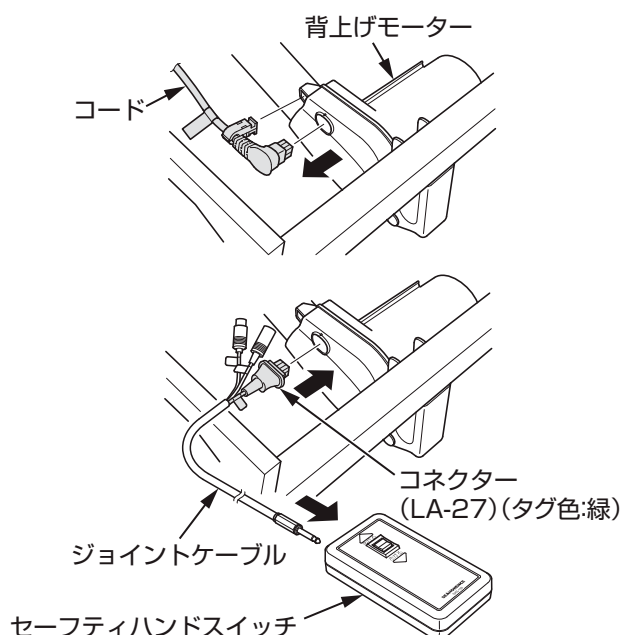
- ◆療養されている方・寝具をベッドから降ろして作業をおこなう。
- ◆背ボトムを手で支えて作業をおこなう。
- ◆電力が回復するまで、電源プラグはコンセントから抜いておく。
- ◆スピードピンを外す際は、ラジオペンチやプライヤーを使用する。

セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】を使用する方法について

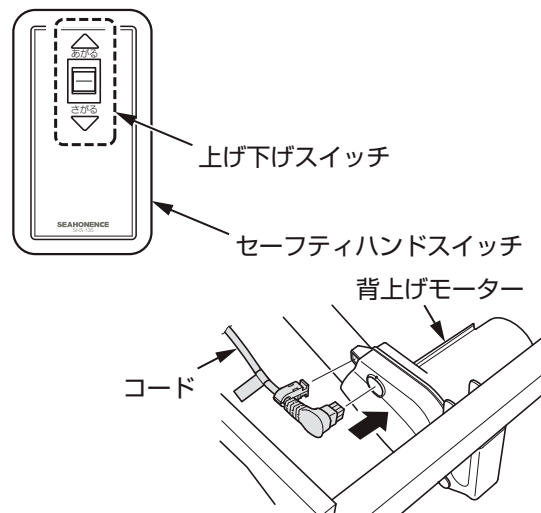
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。 **60ページ** 参照
3. 背ボトムを持ち上げます。
4. 背上げモーターからコードを抜きます。



5. 背上げモーターにジョイントケーブルのコネクター（LA-27）（タグ色：緑）を接続します。
6. ジョイントケーブルをセーフティハンドスイッチに接続します。



7. セーフティハンドスイッチの上げ下げスイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げます。



8. 背上げモーターからセーフティハンドスイッチのジョイントケーブルコネクタを抜き、手順4.で抜いたコードを接続します。

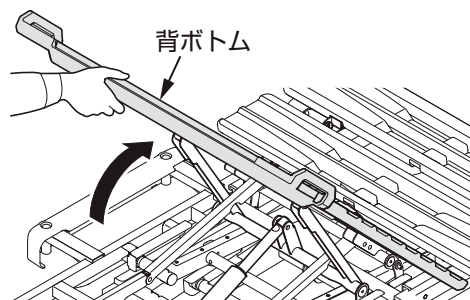
9. 背ボトムを手で支えながら降ろします。

10. ヘッドボードを取り付けます。 **42 ページ 参照**

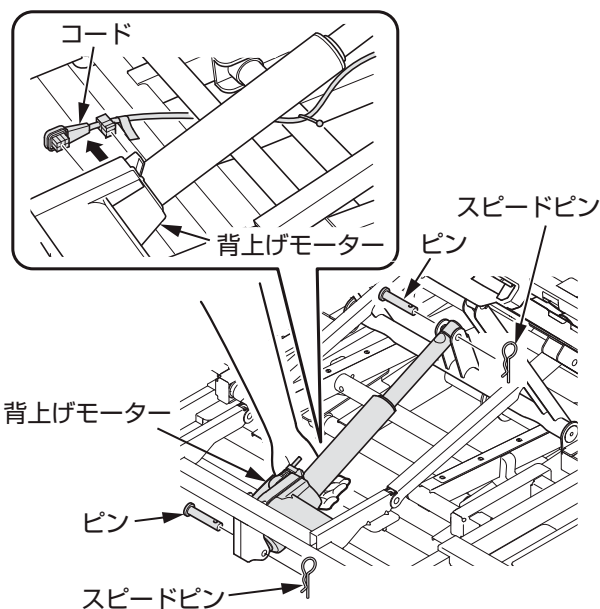
手動で行う方法について

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。 **60 ページ 参照**

3. 背ボトムを持ち上げます。



4. 背上げモーターからコード抜きます。
5. 背上げモーターの後端側のピンとスピードピンを取り外します。



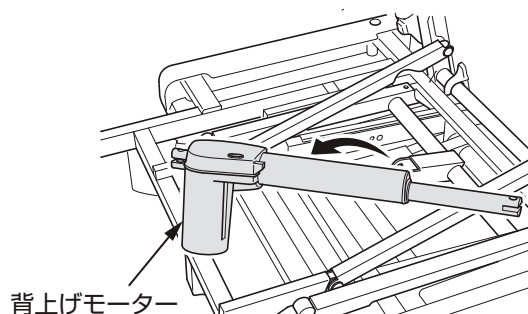
Point

- 外した固定ピン、スピードピンは、背ボトムを元に戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。

6. 背上げモーターを取り外し床に降ろします

7. 背ボトムを手で支えながら降ろします

8. ヘッドボードを取り付けます **42 ページ 参照**



復帰の方法

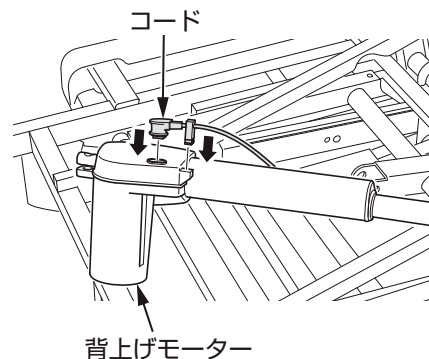
Point

- セーフティハンドスイッチ (SHS-135)【別売】を使用して背下げをおこなったときは、以下の作業は必要ありません。電力の回復が確認できたら、電源プラグをコンセントに差し込み使用を開始できます。

電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

1. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。
60 ページ 参照
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
3. 背上げモーターに、背下げ作業時に抜いたコードを差し込みます。

手元スイッチの「あたま」の「マさがる」ボタンを押して背上げモーターのシャフトを最後まで引き込みます。

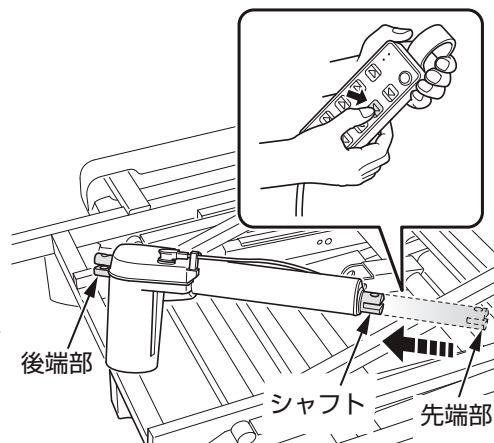


注意

事故・ケガの原因になります

- ◆操作が完了し次の作業をする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

5. 背ボトムを持ち上げます。
6. 背上げモーターを支えながら、後端部のピンを通し、スピードピンで固定します。
7. 背上げモーターの先端部のピンを通し、スピードピンで固定します。



注意

事故・ケガの原因になります

- ◆ピンはスピードピンで確実に固定する。

8. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
9. ヘッドボードを取り付けます。**42 ページ 参照**

